

# DCCサウンド入門セット 説明書

Rev 0  
2020-4-29



本製品の構成  
Nagoden製 MP3デコーダV6SE  
(スピーカー配線済、電解コンデンサを小型化)  
TRAINO製 PetitStation  
(簡易コマンドステーション、次ページ参照)

DCCサウンド入門セットは、NゲージでDCCサウンドをより簡単にお試しいただけるセットです。DCCサウンドデコーダは、nagodenさんMP3デコーダV6SlimEditionを採用、EC-Slimイージーセットと同様にKATO DCCフレンドリアダプタに配線済みです。

付属の簡易コマンドステーション (PetitStation)を使って、走行音と警笛を鳴らすことができます。音源は日本型サウンド (VVVFサウンドやディーゼル音など) から選択できます。パソコンとUSBケーブルがあれば、警笛を好みのミュージックフォン等に入れ替えることもできます。

## ●サウンドについて

走行音は以下から選択できます。

- 0:無音(疑似音なし), 1:DC(直結)
- 2:吊掛(20 - 110), 3:トレミアインパータ(京急2100タイプ)
- 4:吊掛(20 - 220), 5:トレミアインパータ(京急1000タイプ)
- 6:E231(墜落インパータ), 7:抵抗制御
- 8:東洋GTO VVVF, 9:E231系 (旧)

CV47の変更にて変更できます。(ただし、別途コマンドステーションが必要です)

警笛(F2)は、サンプル音声 (オープンデータ~サウンドから引用) を入れています。

## ●別途準備いただくもの

- 搭載車両 DCCフレンドリ対応車両用です  
改造すれば、各社メーカー車両(18mm車以上)に取り付け可能
- レール TOMIXレールもしくはKATOレール  
(PetitStationはTOMIXフィーダーケーブルに直結できます)
- 電源 ACアダプタ (DC12~15V出力)
- ツール類 ニッパー (仮配線のカットに利用)  
絶縁テープ  
カッター、サンドペーパー、ゴム系接着剤  
(スピーカーエンクロージャ調整用)  
半田ごて、半田 (PetitStation半完成品を組み立てる場合)

※搭載車両によっては、これ以外の部材が必要になることもあります。

## ●組立方

- ① 簡易コマンドステーション(PetitStation)を組み立ててください。  
詳しい手順は次ページを参考にしてください。

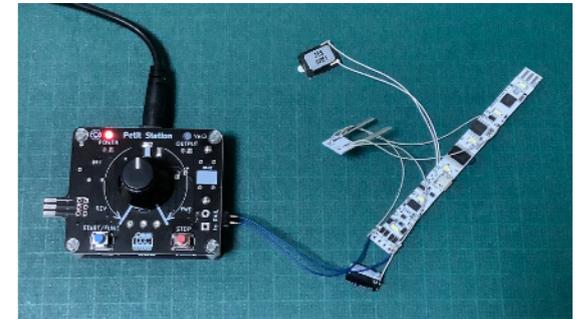
PetitStationは送料を節約するため、ボリュームやネジを外した半完成品にすることで、薄型に梱包しお送りします。半完成品を組み立てるには半田付けが必要です。なお、実店舗においては、完成品の状態で頒布します。



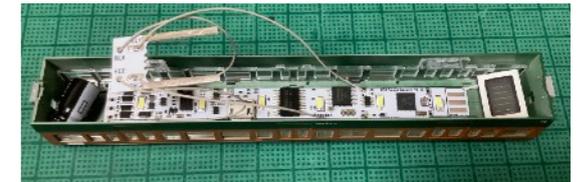
- ② V6SEの仮配線(青い配線)をPetitStationにつなぎサウンド機能を確認してください。

- ・スロットルでサウンドが変化します
- ・青スイッチを押すと警笛が鳴ります
- ・赤スイッチを押すと停止です

エンクロージャをつける前は音量は小さく、また音が割れる場合がありますが、正常です。また、パソコンがあればマイクロUSBケーブルで警笛音を入れ替えることも出来ます。



- ③ 搭載する車両のボディに収納してみます。  
車体側の加工が必要かを検討してください。



- ④ 動力ユニットにEM13アダプタを装着し  
基板の収まり具合を調整します。  
EM13はケーブルを半田付けしてある面が下側です。



- ⑤ スピーカーのエンクロージャを車体に入るようにカットし、スピーカーユニットに接着します。仮配線(青い配線)もカットします。  
ショートしそうな場所は絶縁テープを貼って収納し、ボディを戻して完成です。

## ●技術情報

- ・MP3デコーダV6SEの詳細は以下のリンクを参照ください。  
[http://nagoden.la.coocan.jp/dcc/dcc56/dcc\\_56.htm](http://nagoden.la.coocan.jp/dcc/dcc56/dcc_56.htm)
- ・MP3デコーダのアドレスは3 (初期値) に設定されています。PetitStationもアドレスを変更しない場合は3となります。
- ・走行に関係するCV値もデフォルト値となっています。  
車両搭載後に細かい調整をする場合は、CV値の読み書きが可能なコマンドステーションを準備してください。(D102(KATO)やBluebox/DesktopStationが必要になります)

# TRAINO Petit Station 説明書

Petit Stationは、Nゲージなど小型DCC車両を動かすためのDCC用パワーパックです。1列車だけの運転機能に絞り込み、従来のコマンドステーションにはない小型化と、簡単操作を実現しました。

またお求めやすい価格で、DCCの本格導入を決めかねている方のお試しにも最適です。

## ●電気的仕様

入力	入力電圧 DC12V~25.4V (φ2.1標準DCジャック利用) 製品上部のコネクタに接続してください。	出力電流 0.8A以上を推奨 参考製品： 秋月電子通商製品 LTE10UW-S2-BS01 (12V品) - 日本型のみの場合 LTE10UW-S3-BS01 (15V品) - 欧州製品も利用する場合
出力	出力電流 0.5A max 接続方法 TOMIX給電コネクタ 安全機能 約700mAで過電流保護回路が動作します。スタートボタンで動作を再開します。	給電コネクタは製品右側に差し込んでください。



## ●DCC仕様

ロコアドレス	3もしくは1-99の範囲で設定	ロングアドレスはサポートしていません
走行コマンド	スピードステップ128	Digitanx製品デフォルト値と同様です。
ファンクションコマンド	F2のみ操作可能	F0、F1は常時オンですので、ライトやサウンドを楽しめます。その他のファンクションはオフ固定です。
その他		ロングアドレスでの運転、2路湯同時運転、ポイント操作、CV値アクセス機能はありません。

## ●組立情報

PetitStationは送料を節約するため、ボリュームやネジを外した半完成品にすることで、薄型に梱包しお送りします。ボリューム（可変抵抗）は端子を水平になるように折り曲げて、プリント基板の裏から差し込みます。しっかりとねじ止めた後に、ボリュームラグ端子をはんだ付けしてください。その後、四隅にスタッドを取り付けます。もう一枚の裏板（生基板）をネジ止めて完成です。



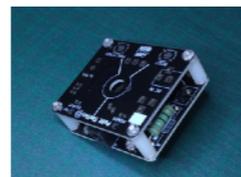
ボリューム端子の折り曲げ



ボリュームのネジ止め



端子のはんだ付け



スタッド・底板取り付け

## ●操作方法

スロットルをセンターに戻して、青ボタンを短めに押してください。その後、スロットルで前後に走行、青ボタンで汽笛（サウンド搭載モデルの場合）を鳴らすことができます。アドレスを変更したい場合は、赤ボタンを押した後、青ボタンを長めに押してください。アドレスアドレスモードにはいりスロットルで数字を選び青ボタンで決定、2桁合わせたら運転できます。

電源投入後短めに押すとアドレス3で動作を開始します。なお、OUTPUTが点灯するまで長押しするとアドレス設定モードに入ります。

DCC運転を瞬時に停止し、電源投入直後の状態に戻ります。

スタート/FUNCスイッチ↑

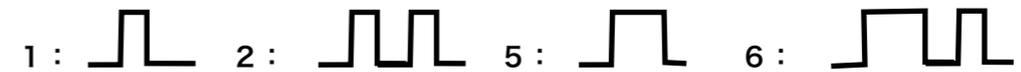
リセット兼緊急停止スイッチ↑

### スロットル操作

停止状態に戻さないと、DCCは出力開始しません。（青LEDが点滅）中央に戻せば青LEDが点灯に変わり、出力を開始します。

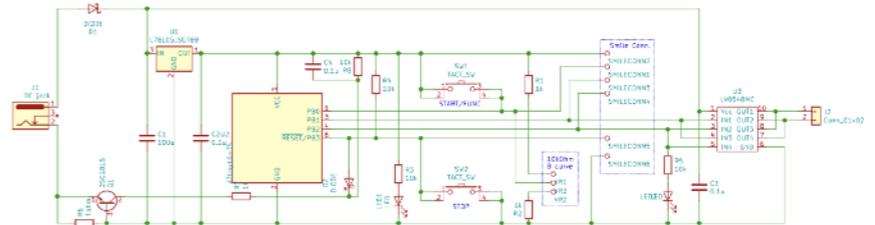
アドレス設定モードの補足：

スロットルを回して、OUTPUT表示器の点滅パターンで数を指定します。



合わせ終わったら[START]ボタンで決定します。2回決定して2桁アドレスを設定します。

## ●技術情報



⚠ 本製品は、スマイルコネクタ（電子工作連合：スマイラー氏提唱）を搭載しています。将来的にはバージョンアップやユーザー様でのプログラムの改造ができる予定です。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。何か商品にお気づきの点がございましたら、[traino@desktopstation.net](mailto:traino@desktopstation.net) にご連絡をお願いします。 2020-6-19 初版